



50%省エネ自動車船の開発

日本郵船では、2010年の発注を目指して、車1台を運ぶための必要エネルギーを半分にする自動車船を開発しています。MTIは、新型の推進機構、太陽光エネルギーの利用、運航サポート、抵抗の少ない船型、荷役時間の短縮など、様々な側面から技術開発を行ない、50%省エネという大きな目標の達成に貢献します。

